

保護者による評価

A環境面
勉強するスペースと余暇活動のスペースが分かれていて切り替えがしやすい。

B児童への支援内容
支援計画を詳細に立ててくれているので満足している。

C事業所からの情報発信
保護者会の実施は出来ていない。(コロナ禍なので)連絡帳を用いて情報発信が出来ている。

D非常対応
ビルと連携し避難・災害訓練をしている。

事業所による自己評価

A環境面
スペースが狭く感じる。
設備等が経年劣化により古くなっている箇所がある。

B児童への支援内容
支援に関しては自信を持って提供することが出来ている。

C関係機関との連携
保護者会の実施や個別相談等を通じて連携している。

D保護者への説明責任・信頼関係
アセスメントや方針に関しての話し合いが行われている。活動プログラムの提案がよくされている。

E非常対応
避難訓練を災害や水害等の状況別の訓練をしたらどうか。

事業所内での分析

【共通点】教室が狭いように感じるが施設全体に職員の目が行き届く。避難訓練の実施日を利用者全員が参加出来るように実施日を検討する。

【相違点】避難訓練を色々な状況別で行いたい。いま行っている支援については継続するが、みんなが楽しめるような療育を考えていきたい。

【分析】学習するスペースと余暇活動スペースが分かれていて保護者の評判がとてもいい。現在行っている療育もとても評判がよく、SSTの療育も保護者からいい評価を得ている。事業所の設備等で古くなっている箇所を修繕し、利用者の過ごしやすい環境作りをしていく。避難訓練の実施を周知されているかどうか。避難訓練をいろいろな状況下でやってみてはどうか。

事業所の改善への取り組み

- ・事業所の設備等で古くなっている箇所を修繕し、利用者の過ごしやすい環境作りをしていく。
- ・社内、社外問わず各研修に積極的に参加していく。
- ・避難訓練の実施予定の計画を見直し、たくさんの生徒が参加できるようにしていく。
- ・避難訓練に関して津波・台風を想定したものや、火災、地震等実際に最近身近で起こっているものを想定して行っていく。